

琉球大学学術リポジトリ

工夫しましょう 更生服のいろいろ

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学農家政学部 公開日: 2011-05-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 渡口, 文子, Toguchi. Fumiko メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/19788

工夫しまじょう

更生服のいろいろ

そろそろ秋がやって参りました。一日押入れの整理をしながら冬物の準備をして頂きたいと思ひます、あれこれ繰廻しを工夫してお子さん方にも楽しい冬が迎えられる様なものを二、三、図で説明して行きたいと思ひます。

一、Yシャツの働着

一番たくさんありますお父様や子供さん方のYシャツ等も少し工夫致しますと、お母様や若い方の働着にいかがでしょう。上着にもなり又スモックの様にも着れます。



原 型

A型はいたみのひどい衿だけ取り、袖は七分にしカフス止めにして、切りとった袖の部分で大きなポケットを作って腰に張りつけますと上っ張りにもなります。
B型はウエストより七種程長目に切り落して裾に紐を通してぐっと結んだブラウスで裾から衿分を

裁ち、つけ替えますと中年の方と言わずお召しになれると思ひます。

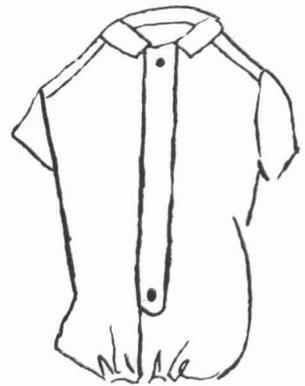


A 型

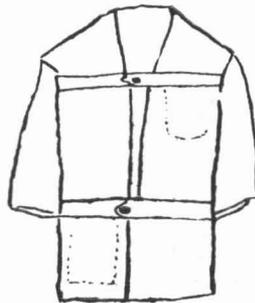


B 型

C型は若い方のブラウスです。腰までの丈に紐を通してゆったりとし、衿剣を少し広く削って丸い衿にして前立は裾の方を少し上で丸め、衿を上下に一つずつにして全体を可愛らしくまとめました
D型はセーターの上にも又そのまま上着としても



C 型



D 型

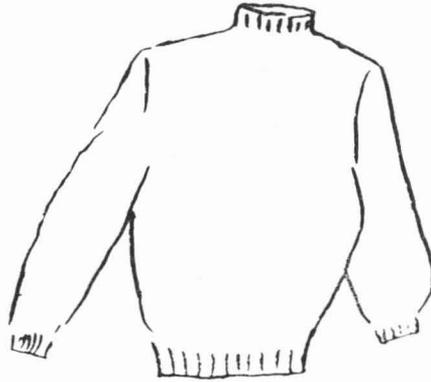
着れるスタイルにしました。袖も少し短か目の七分にし衿剣は、深目のV型に落しアクセントに裾から四種幅のテープを四本裁ちそれを前立の上下に張って衿止めにしました。出来ますとテープをポケット口にも利用するのもよいし、張りつけてもよいでしょう。

二、子供の防寒着

古くなったセーターかガーディガン又は洗濯して縮んで着られなくなったのが箱の中はまだ残っていると思ひます。それ等を利用して子供さん方の防寒用下着に作り替えて着せますと、きつと寒さ知らずに過せる事が出来ると思ひます。A型はセーターをそのまま使います。ウエストに紐を通しておき、衿だけとってかがり丈夫にする為に薄



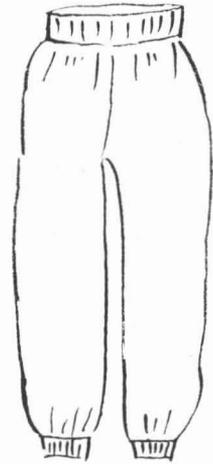
A 型



セーター原型

い布のバイヤスでかがり目をかぶせるとじつつけておくだけで子供達の寒さ知らずが出来ます。B型は短かくなったズボンの丈を長くする為にセーターの袖口やウエストのゴム編をはずして接ぎ合わせますと、又新しい感じのズボンが出来ます裾だけ足したい時ですと大人の靴下(毛糸のゴム編)等もいろいろ色が沢山ありますから、配色がよければ利用出来ると思います。

B型



セーターのウエストと袖口を接ぎ合わせる(リミング)

子供の防寒帽子
ガーディガンの後身ごろと裾のゴム編を使って作ります。縫代なしに裁ち▲印を縫い合せて顔開りはゴム編で拾い目をして四・五種編み上げて行きますと、顔にびったり合います。首回りも首に合せて留止めにしますと、男女共に利用出来ると思います。



C 型

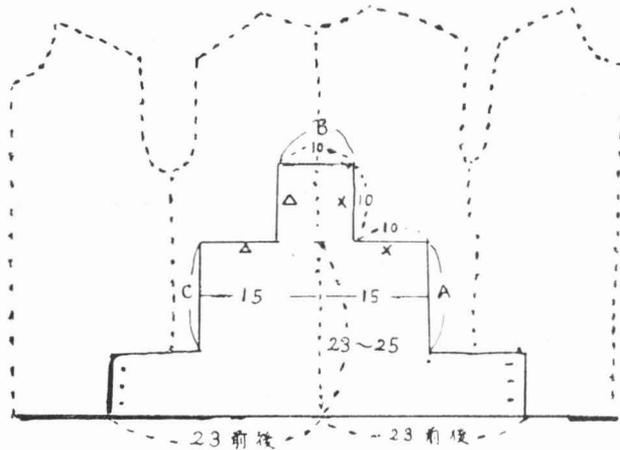
D型は洋服に新しい気分を出す為にセーターの袖を替えポケットにも毛糸を扱って見てもよいでしょうし、又D型の組合わせ方を反対にして身ごろはガーディガンを使い袖だけをウールか化繊で取替えても又よいのではないのでしょうか。

三、毛織物の染替え

形はくずれないが少し色があせた様なものがありますと染め替えて新しく着るのも又楽しい事だと思えますので簡単に染め替え出来る方法を申し上げます。



D 型



直線で裁ち落とす
xとx、ΔとΔを縫い合らし、A、B、Cをひろい目をしてゴム編で四、五種編む(C型)

先ず用意しますのは

用器―被染物が自由に動かせる大きさの鍋か洗

面器類でトタン製以外ですと何でもよい。

染料―酸性染料一瓶

助剤―鞣酸又は食酢

竹製はし、又はガラス棒・どんぶり

準備

被染物が純毛か交織か調べます。又汚れていま
すと染めむらになりますので、一度洗濯して汚
れを落し十分すすいでおきます。染料の色は元
の色と同じもので出来たら染料も同じ性質のも
のを選びます。色は同じ色かそれよりは濃いも
のを選びます。淡色に染める時は色抜きしてか
ら染めた方がよく色が出ます。

トラクターの利用法

現在、農業用トラクターとして使用されている
ものには小型で二―三馬力から、三〇―五〇馬力
の大型のものまで数多くの型式のものが各会社に
よって製作され農業労働生産性の向上に多大の役
割を果しています。これらのトラクターには歩
行型のものや乗用型のものがあり、步行型とは、
使用原動機が一〇馬力程度までのもので、それ以
上になると乗用四輪型になり一般に使用されてい
るのは大体三〇馬力前後のものが多くようです。
現在沖繩に導入されている「キセキ」「クボタ」
「サトー」「スズエ」「クイーン」……等は前者
に属し、「フアーガソン」「フォードソン」等は
後者に属します。

染め方

用水量―被染物の重量に対して約五十倍

温度―四〇度から五〇度C

時間―三〇分から四〇分

家庭用染料一個（二五瓦）を使用すると濃色に
染ります。

半分ならば中色に染り三分の一ならば淡色に染
ります。順序として

大形の用器に温湯を五―六立入れ、原液を別器
に三分の一と硫酸ナトリウム（薬店にあります）
を約一〇瓦加えて熱湯をかけ、よく溶かして用
器に二分の一加えてよく混ぜ、その中に被染物
は予め水に浸し軽く水を切っておきそれをたぐ
りながら入れ一〇分間染めます。その間よくま
ぜます。液の残りに鞣酸五瓦又は食酢三〇瓦を
加えて用器に加えますが、被染物は取上げて加

これらの機械にはそれぞれ機種、型式によって特
徴があり、一つの機械がすべての作業に適すると
いうものでなく、一つの作業にどの機種、型式で
も良いというものではありません。機械はある作
業性能を目標として設計製作され、それに若干の
附属作業機をつけることによって作業に幅を持た
せてあるものです。ですから一つの機械が成し得
る作業には自から限界があるわけです。そこで使
用者は、その機械の特徴を良く理解し、更に自分
の農業経営において必要とする作業をよく検討し
た上で機種を選定することが大切です。機種を
いさえずればどんな作業でも出来るといった漠然
とした考えで機種を選ぶことはやめたいものです

えよくかきませて被染物を入れ四十分間沸騰さ
せ（よく上下に布は取り替える様に）好みの色合
になりますと、そのまま放置して冷やしてから
アンモニア水を二―三滴落した水で洗って乾燥
しますと又気分の変った新しい服が出来上り
ます。

色抜きの場合

絹や羊毛

A、石けん 五瓦

B、鞣酸アンモニウム 五瓦

C、ハイドロサルファイト 五瓦

アンモニア水 五瓦

各々温湯にして一〇分―一分五秒浸します。
A液で落ちないときはB、Cと取替えて見ます
あとはよく水洗いする事が大切です。

（渡 口 文 子）

ここ数年来沖繩では山地開発、軍用地の解放等
で至るところで開墾作業が行われていますが、こ
れらの作業に機械を使うことは能率、経費の面か
ら望ましいことです。今月は、それらの傾斜地
において大型トラクターを利用する場合の使用
方法について説明することにします。

傾斜地においてトラクターを使用し農業を経
営する場合考えなければならぬことは傾斜度で
す。クローラ型トラクターを使用した場合をあげ
てみますと最高一八度までは可能です。またホイ
ール型トラクターを使用した場合は一三度まで可
能です。クローラ型ですと作業が限定され、開墾
後はプラウイング、ハローイングなどが主体にな
り繰り返し行えるだけで他の作業が出来ません。
傾斜一八度のプラウイングは能率的ではありません